

平成28年度第2回秋田県立保呂羽山少年自然の家運営協議会 要旨

1 日 時 平成28年11月17日(木) 午後3時から午後4時30分まで

2 場 所 秋田県立保呂羽山少年自然の家 研修室

3 出席者 委員(五十音順)
佐々木委員(会長)、高橋委員、長谷山委員(副会長)、
守屋委員、赤石委員
事務局
生涯学習課
村井社会教育主事
保呂羽山少年自然の家
鈴木所長、高田副主幹(兼)班長、高橋主査、菊地技能主任、
沢村主任社会教育主事(兼)班長、北畠社会教育主事、
廣瀬社会教育主事、高橋研修員

4 議事概要

- (1) 開会
- (2) 保呂羽山少年自然の家所長あいさつ
- (3) 生涯学習課あいさつ(村井社会教育主事)
- (4) 会長あいさつ
- (5) 協議
 - ①平成28年度前期の運営の進捗状況について 所長より説明
 - ②第1回運営協議会の課題に係る対応と後期の事業について 沢村指導班長より説明
 - ③質疑応答及び前期の運営について意見交換
- (6) 閉会

5 委員からの主な意見

- ・ 繁忙期に利用希望があった場合、断った例はあるのか。また、雨天時の活動に対する利用者への対応、危険回避の考え方・基準などはどのようになっているのか。
- ・ 熊出没騒ぎの影響はどうだったか。カメムシの大量発生について、何か対策はしているか。施設のトイレの洋式化の計画はあるか。
- ・ スキー教室の出前講座は、どれくらい周知しているものか。
- ・ 保健師や栄養士とタイアップして、健康増進教室や食育に関連した講座などを企画してみてもどうか。
- ・ 今後予定されている横手市PTA連合会の研修会など保護者が集まる場に出向き、広報活動してみたらどうか。
- ・ 民間においてマーケットの対象を変えるための方法として名称を変えるということがある。少年自然の家から「少年」を外すことが考えられるがいかがか。
- ・ 公立の保育園・保育所の利用が少なくなっているのが残念だ。
- ・ 横手市でボランティアに登録している方を活用して、活動を連携できないか。
- ・ 高校生をボランティアとして受け入れて、活動の実績を学校の成績に反映できないか。